

こんにちは！
 おおづまちしょう しゃきかんそうだんしえん
だい 14号
大津町 障がい者基幹相談支援センターです！！



はつこうび れいわ ねん がつ
 発行日:令和7年9月
 はつこうせきにしや
 発行責任者:
 おおづまちしょう しゃ
 大津町 障がい者
 きかんそうだんしえん
 基幹相談支援センター
 うらたひろゆき
 浦田裕之
 ☎096-292-0114

こんねんど おおづまち しょうがいふくし じぎょうしょ しょうかい
 今年度は大津町にある障害福祉サービス事業所の紹介をさせていただきます。
 こんかい そうだんしえんじぎょうしょ しょうかい
 今回は相談支援事業所を紹介させていただきます。

じぎょうしょめい 事業所名	さん き さと そうだんしえんじぎょうしょ 三気の里 相談支援事業所 たんぼぼ	
ないよう 内容	いっばんそうだん とくていそうだん せいじん しょう じ そうだん じどう 一般相談、特定相談(成人)、障がい児相談(児童)	
じゅうしょ であんわ 住所 電話	おおづまちもり 大津町森54-2 096-223-8130	
そうだん かんいき ころが 相談しやすい雰囲気をご心掛けています。		



じぎょうしょめい 事業所名	そうだんしえん ぼし 相談支援センターいちばん星	
ないよう 内容	おおづまちじゅんかいそうだん とくていそうだん しょう じ そうだん おも じどう 大津町巡回相談、特定相談・障がい児相談(主に児童)	
じゅうしょ であんわ 住所 電話	おおづまちおおづ 大津町大津214-1 096-284-4141	
こ たち ための あそ えるてい きがる た よ 子ども達のための遊べる園庭があります。お気軽にお立ち寄りください。		

じぎょうしょめい 事業所名	さどそうだんしえん つくしの里相談支援センター	
ないよう 内容	とくていそうだん せいじん しょう じ そうだん じどう 特定相談(成人)・障がい児相談(児童)	
じゅうしょ であんわ 住所 電話	おおづまちひらかわ 大津町平川400 096-293-1550	
りようしゃさま おも たいせつ ご利用者様の想いを大切にしています。まずはお気軽にご相談ください。		



じぎょうしょめい 事業所名	していとくていそうだんしえんじぎょうしょ 指定特定相談支援事業所 こすもす	
ないよう 内容	とくていそうだん せいじん しょう じ そうだん じどう 特定相談(成人)・障がい児相談(児童)	
じゅうしょ であんわ 住所 電話	おおづまちむろ 大津町室1818-1 096-293-9041	
ちいき 地域とのつながり、あなたの暮らしをサポートします。		

じぎょうしょめい 事業所名	そうだんしえん よろず相談支援センターふらっと	
ないよう 内容	とくていそうだん せいじん しょう じ そうだん じどう 特定相談(成人)・障がい児相談(児童)	
じゅうしょ であんわ 住所 電話	おおづまちおおばやし 大津町大林1026-27 096-300-5216 ・ 090-5666-9681	
こ がくしゅうしょう おとな ぼつたつしょう 子どもの学習障がいや大人の発達障がいのサポートもしています。		



じぎょうしょめい 事業所名	そうだんしえん 相談支援センターみんと	
ないよう 内容	とくていそうだん せいじん しょう じ そうだん じどう 特定相談(成人)・障がい児相談(児童)	
じゅうしょ であんわ 住所 電話	おおづまちおおばやし 大津町大林1027	
しょう かくし しょう ほんにん かぞく とも かんが 障がい福祉サービスの利用をご本人・ご家族と共に考えます。		



そうだんしえんじぎょうしょ けつてい おおづまちしょう しゃきかんそうだんしえん
 相談支援事業所を決定するまでは、大津町 障がい者基幹相談支援センターがサポートする
 こともできます。ご希望の方は、大津町役場内 大津町 障がい者基幹相談支援センターへ
 お申し出ください。

『やさしい地域のまなざし講座』 開講しました

R7.8.18 に大津町相談支援部会(本号で紹介した、大津町の相談支援事業所、大津町福祉課、大津町障がい者基幹相談支援センターが集い、意見交換や学びの場として年4回開催しております。)で、熊本県ひきこもり地域支援センターゆるここへ『まなざし講座』の開講をお願いしました。関係機関のみなさんにも参加いただき、ひきこもりについての理解を深めることができました。



ひきこもりって？

様々な要因の結果として、就学や就労、交友などの社会的参加を避けて、原則的には6ヶ月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態(他者と交わらない形での外出をしている場合も含む)を言い、誰でも起こりうるストレスの対処の一つであり、ひきこもり≠病気ではありません。



どんな人がひきこもり状態になりやすい？

わかりません。それぞれ違う、様々な要因があります。しかし、原因探しよりも、今の本人を認め、これからのことを考えましょう。



家族や身近な私たちにできることは？

- ・エネルギーの回復に必要な「安心・安全な環境」を整える
- ・本人を理解しようとする
- ・「どうすれば本人が元気になるか」を考える
- ・本人も家族も孤立を深めなくてすむ環境づくり
- ・本人へ大切な存在だと伝える
- ・家族の元気を支える
- ・話をしてくれたら聴く(こちらの考えを押し付けない)
- ・手伝ってくれていることがあれば労う
- ・一緒に楽しい時間を過ごす
- ・いい意味で関心をもち続ける

元気がない人が過ごしやすい空間・地域は 誰にとっても心地よいもの
誰もがやすらぎを感じながら暮らせる地域社会をめざしたいですね…



熊本県ひきこもり地域支援センターゆるここへ『まなざし講座』資料より引用



熊本県ひきこもり
地域支援センターゆるここ



熊本県ひきこもり啓発ページ

まずは、ひきこもりのことを知っていただけたらうれしいです。← QRコードからも情報を観ていただけます。ぜひご覧ください。

